

道路災害防除工事における「概算数量による発注」について

建設部 道路管理課

1 対象工事

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」で実施する道路災害防除工事について、早期対策による民生の安定を目的とし、既存の測量・設計成果がなく、発注段階で工事実施数量を正確に把握できない工事箇所のうち、対策工法が決定している次のいずれかの工法については、実測図面を示さない「概算数量による発注」を活用。

- (工法1) 既設吹付工・法枠工の補修^{※1}
- (工法2) 裸地法面への吹付工、吹付法枠工（新設）
- (工法3) 落石防護網工（撤去再設置）
- (工法4) その他、構造計算を要しない法面保護工

※1：想定する工法例

- ・ 吹付背面の空洞処理（裏込め注入工）
- ・ 補強（吹付工（上吹補修）、吹付枠工）
- ・ 既設吹付の撤去（はつり工）ならびに吹付工、吹付枠工
- ・ 既設法枠工の撤去（はつり工）ならびにモルタル・コンクリート補修

2 当初設計

(1) 添付される図面等

- ・ 平面図は道路台帳平面図等を利用し、概ねの工事実施範囲を図示
- ・ 標準横断図において吹付工の厚みや材料等構造等を明示
- ・ 展開図により施工面積の概算数量根拠を図示
- ・ 上記根拠による概算数量にて設計額を算出

(2) 測量等の費用の計上

- ・ 受注者が行う測量調査等費用を計上

3 調査設計の実施

- ・ 受注者は当初設計に示された、測量調査等を実施
- ・ 発注者は測量調査の成果に基づき、必要な調査設計を実施し、その内容について受注者に指示

「3か年緊急対策」における河川内の樹木・堆積土除去工事について

建設部 河川課

1. 「概算数量による発注」の活用について

標記工事のうち、既存の測量・設計成果が無く、発注段階で正確な数量を把握できない場合に、「概算数量による発注」を活用する。

2. 「概算数量による発注」の概要

○ 発注段階

(1) 設計図書等

- ・平面図：1/2500 都市計画図、住宅地図、航空写真等に概ねの工事実施範囲を図示
- ・横断図：簡易な手法により標準横断図を作成し、撤去断面、断面積を図示
※堆積土除去のみ
- ・仮設工図：概算数量の根拠が判る程度の図面を添付
- ・数量計算書等：概算数量の算出根拠を明記

(2) 測量等の費用

- ・準備工として必要経費を計上
- ・計上が想定される内容は、縦横断測量、既存施設の根入れの確認のための試掘 等

○ 契約後

- ・受注者は、準備工に計上された測量・調査を実施し、発注者に提出、協議
- ・発注者は、提出された測量・調査結果を基に掘削範囲、掘削深さ等を決定し、受注者に指示。これに基づき設計変更を行う。
- ・仮設工は、施工計画受領時に確認し、必要に応じて設計変更する。(指定仮設扱い)

3. その他

- ・原則的に、「ICT（情報通信技術）活用工事を選択できる工事」として発注。
- ・準備工として実施する測量においても、3次元測量を積極的に活用したい。

金抜設計書について

入札公告時等における設計内容の適切な明示、積算に係る受発注者の負担軽減を図るため、金抜設計書の作成に必要な定義、構成、保存期間等を含め詳細な要領を次のとおり定めた。

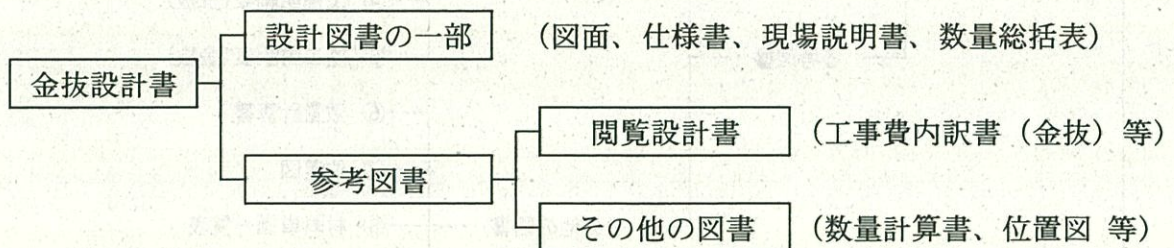
1 主な内容

(1) 金抜設計書の定義

- ・ 金抜設計書とは、入札公告時等に入札参加者等が応札額の算出に必要、又は参考となる情報を明示した図書。

(2) 金抜設計書の構成

- ・ 金抜設計書は、契約条件となる「設計図書の一部」と、契約条件とならない「参考図書」で構成。詳細については、別紙参照。



(3) 閲覧設計書の作成上の留意点

- ・ 設計積算システムにより作成することを原則とする。^{※1}
- ・ 数量、歩掛、積算条件を参考として明示する。^{※2}

(4) 金抜設計書の保存期間

- ・ 電子媒体又は紙媒体で、竣工(完了)検査が完了するまで保存する。

2 本要領の適用

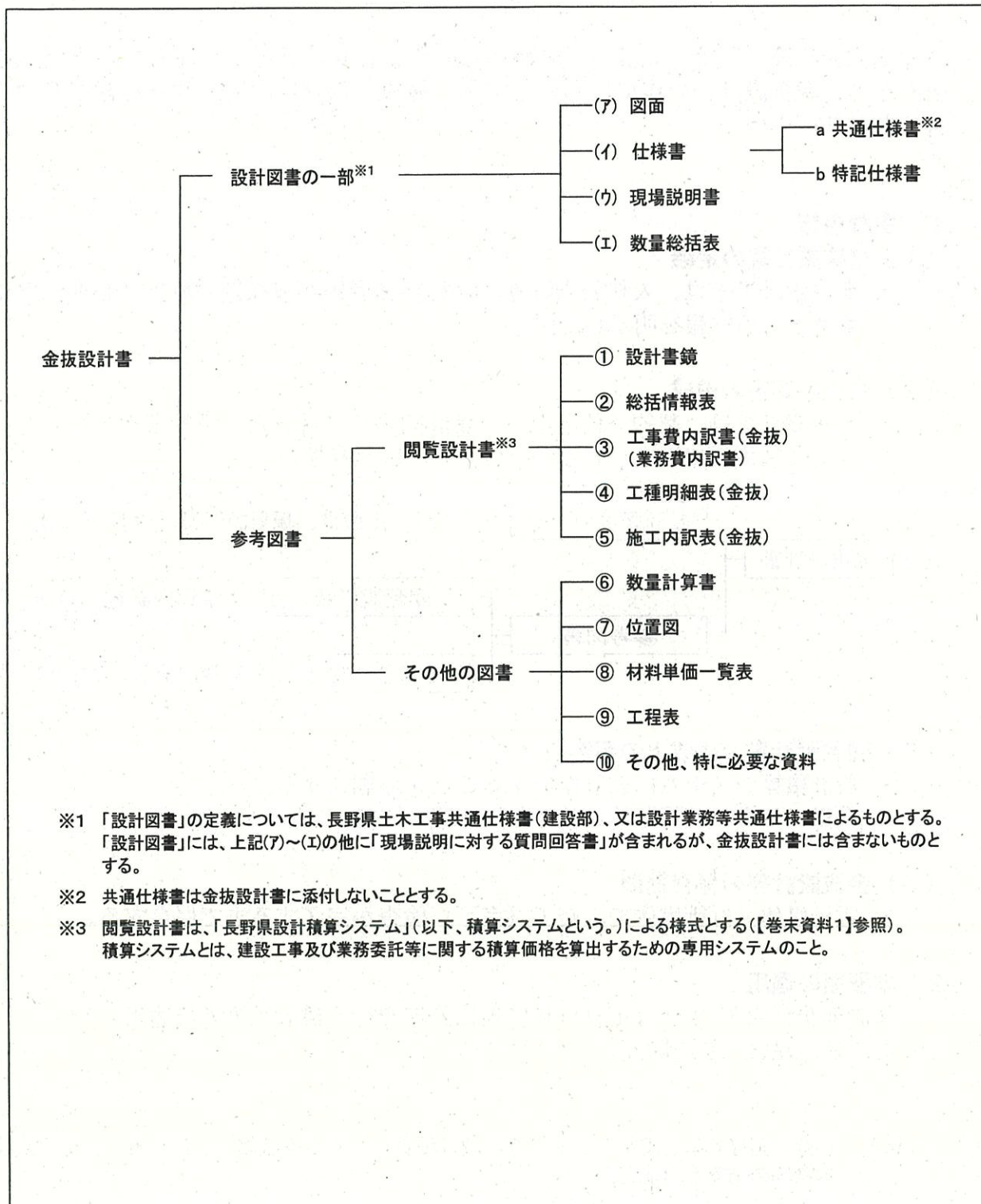
建設部が平成31年4月1日以降に入札公告を行う建設工事等に適用。^{※3}
ただし、建築工事を除く。

※1 任意の諸経費率を設定できるように設計積算システムを改修。これにより、保守点検業務等の積算も可能となる。

※2 本要領の施行に伴い、「応札者自らの積算を促す発注方式試行要領」は廃止する。

※3 他部局においても、本要領に準じて対応を図る予定。

金抜設計書の構成



※1 「設計図書」の定義については、長野県土木工事共通仕様書(建設部)、又は設計業務等共通仕様書によるものとする。「設計図書」には、上記(7)~(I)の他に「現場説明に対する質問回答書」が含まれるが、金抜設計書には含まないものとする。

※2 共通仕様書は金抜設計書に添付しないこととする。

※3 閲覧設計書は、「長野県設計積算システム」(以下、積算システムという。)による様式とする(〔巻末資料1〕参照)。積算システムとは、建設工事及び業務委託等に関する積算価格を算出するための専用システムのこと。

災害時における緊急調査の当番登録期間の変更について

技術管理室

1 現状

- ・ 地質調査業務、測量及び設計業務に関する緊急調査については、毎年5月に今後1年間の当番登録を希望する業者から応募を受け、技術管理室又は建設部現地機関で審査を行い、当番表を作成。
- ・ 6月に前期分（7月～12月）、12月に後期分（翌年1月～6月）の当番表を公表。

2 課題

- ・ 多くの業者が当番登録を継続しており、毎年新規に応募・審査を行う必要性が低減。
- ・ 当番登録業者（支店等を含む）が約300者あり、業者の応募申請書作成、技術管理室又は建設部現地機関の審査の負担軽減が課題。

3 課題解決に向けたアイデア発想

- ・ 業者の当番登録の有効期間を、従来の1年から2年に延伸し、業者登録の新規募集、当番登録の解除の受付のみを年1回行う。
- ・ 将来的には、当番登録の有効期限をなくし、業者登録の新規募集及び当番登録の解除を年1回行うことを模索。

ウィークリースタンス実施要領（案）

技術管理室

1 目的

ウィークリースタンスとは、受発注者間で効率的かつ計画的に業務を進めるためのルールを定める受発注者共同の取組であり、成果品の品質確保と、ワークライフバランスの推進による、担い手の確保・育成を目的とする。

2 対象業務

長野県が建設部発注する委託業務（測量、調査、設計、用地測量、物件調査、構造物点検等）に適用する。ただし緊急を要する業務、小規模修正業務は除く。

3 実施内容

「ウィークリースタンス実施書」を作成し、受発注者間での十分な意思疎通により業務を進める。

1) 業務を実施するうえでのルール

・受発注者の協議により下記の①～⑤を基本的なルールとして定める。ただし一部を実施しないとすることもできる。

- ① 水曜日は定時に帰宅する（水曜日に限らず週1回ノー残業デーを設ける）
- ② 週末に作業を依頼し、週初めを提出期限とすることを禁止する
- ③ 十分な作業期間を確保する
- ④ 勤務時間外の作業依頼はしない
- ⑤ ワンデーレスポンスの徹底

・上記①～⑤以外でも、業務の効率化や成果品の品質向上につながる取組・提案等は実施することができるものとする。

2) 制約事項等の確認

- ・業務を進める上での制約事項や業務の中間目標（マイルストーン）について受発注者相互で協議・確認し、履行期間に係る留意点を共通認識とする。
- ・協議・確認は、「業務スケジュール管理表」等を用いて行い、業務実施中は中間打合せ時などを利用しフォローアップを行う。
- ・確認・協議した結果に基づき、履行期間の変更等を柔軟に行う。

3) その他

- ・実施内容は、初回打合せ時に、受発注者協議のうえ決定する。
- ・「ウィークリースタンス実施書」は監督員が作成し受発注者間で共有する。
- ・「業務スケジュール管理表」等は受注者が作成し受発注者間で共有する。業務スケジュール管理表は、業務計画書に含めて提出する業務工程を兼ねることができる。

4 適用年月日

本要領は、平成31年（2019年）4月1日以降の入札公告案件から適用する。

ウィークリースタンス実施書

協議日 年 月 日

業務名	
業務箇所	
履行期間	
発注者 監督員職・氏名	
受注者	監理技術者・現場代理人 氏名

1) 業務を実施するうえでのルール

- ① 水曜日は定時に帰宅する（水曜日に限らず週1回ノー残業デーを設ける）
- ② 週末に作業を依頼し、週初めを提出期限とすることを禁止する
- ③ 十分な作業期間を確保する
- ④ 勤務時間外の作業依頼はしない
- ⑤ ワンデーレスポンスの徹底

実施する項目に「○」を記入
実施しない項目に「×」を記入

①	②	③	④	⑤

その他実施する内容

- ⑥ _____
- ⑦ _____

2) 制約事項等の確認

業務上の制約事項や中間目標（マイルストーン）など

<ul style="list-style-type: none">・・・

※確認にあたっては「業務スケジュール管理表」等を使用する

業務スケジュール管理表

※本様式は作成例であり様式は任意です

業務名

箇所名

履行期間

会社名

管理技術者

担当技術者

作成日

年 月 日

作業項目	5月		6月		7月		8月		9月		10月		備考
橋梁予備設計	上部工設計			■	■	■	■						
	下部工設計			■	■	■	■						
	基礎設計			■	■	■	■						
	仮設工設計 施工計画					■	■	■	■	■	■		
	数量計算									■	■		
打合せ・協議			○ 初回				○ 中間				○ 納品時		
河川測量			■	■									
地質調査			■	■									
中電、NTT								● 関係調整会議					
○○漁協											● 施工協議		

作業事項	作業者 発注者 受注者	期限	作業状況	今後の進め方		懸案事項	解決策等
				内容	予定		
連絡調整会議協議資料作成	○						
設計審査会資料作成	○						
漁協協議日程調整	○						

